

(1) 幼児の姿と教師の願い

※幼児の姿については省略

- みんなで集まって一緒にすると楽しいということが感じられるような活動を取り入れたり、教師や友達に親しみがもてるような声かけをしたりして園生活が楽しく感じられるようにしていきたい。
- 特定の年長児とのかかわりをきっかけに、その年長児の友達やそのペアの幼児との出会いが見られ始めた。友達同士のつながりを大切にし、かかわりが広がるような声かけをしていきたい。
- 教師は幼児の表情や気持ちを読み取り、思いを受け入れ代弁したり、ふさわしい言葉を伝えたりしていく中で、自分の気持ちを言葉で伝え、思いが伝わる喜びを感じられるようにしていきたい。

(2) ねらいと内容

- 教師と一緒に好きな遊びをする。
- 自分のしたいことを言葉や動作で表現しようとする。
 - ・ 自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。
 - ・ 同じ場所や遊びをしている友達と過ごすことを喜ぶ。
 - ・ したいことやしてほしいことを教師に話したり、態度で示したりする。

(3) 活動の内容 (別紙)

(4) 評価の観点

- 教師と一緒に好きな遊びを見つけていたか。
- 自分のしたいことを言葉や動作で表現しようとすることができていたか。
- 幼児のさまざまな表現から、思いや意欲に気づき、思いをくみとることができていたか。

(3) 活動の内容

自ら選んだ遊び

- ① 砂場で遊ぼう
- ② 粘土で遊ぼう
- ③ リズム遊びをしよう
- ④ シャボン玉で遊ぼう
- ⑤ 体を動かして遊ぼう
- ⑥ 自然物で遊ぼう
- ⑦ 一輪車で遊ぼう

